

## 令和3年度 川和東小学校「豊かな心の育成」推進プラン

### 中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

全教育活動を通して、善悪の判断や相手を尊重する心など人権を尊重する姿勢を育てています。

### 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

本校の子どもたちは、物事に対して一生懸命に取り組み、積極的に自分のものにしようと吸収する力がある。また、集団の中で周りとは協調して活動を進めることができる。しかし、自分で考え主体的に行動する力が十分に育っていない。自分の力をどのように生かしていけばよいのか分からなかったり、みんなのことを考えて行動できなかったりすることがある。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・縦割り活動を通して、互いを認め尊重し合う思いやりの心を育てる。
- ・全校で取り組む学校行事や児童会活動を通して、自分の役割を自覚し、集団としての連帯感や達成感を感じ、主体的に取り組む意欲を育てる。
- ・地域の方との清掃活動を通して、協力して環境を整え、地域の一員であることを自覚する。

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- 道徳教育との関連の促進
  - ・全校で取り組む学校行事や縦割り活動など全教育活動を通じて行う道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- 道徳の授業の公開
  - ・全学級で年1回以上、道徳の授業の公開を行う。【視点1】

### 指針2 体験活動の充実

- 話し合い活動の充実
  - ・よりよい生活を築くために、話し合い活動の充実を図り、互いの見方や考え方を広げたり深めたりする。
- 異年齢集団活動の充実
  - ・児童会活動・クラブ活動・縦割りの活動・ペア学年の活動を計画的に実施し、それぞれの役割を自覚し、自主的、意欲的に取り組めるようにする。
  - ・5年・6年で実施する宿泊体験学習のねらいを明確にし、豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験」の充実を図り、体験から学んだことを日々の生活に生かしていく。【視点3】